

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	毎月の月評と3ヶ月毎にモニタリング評価をし、それをもとにアセスメントし、半年毎に本人の状態に即したケアプラン作成に努めている。IADLについて、機能低下する原因が認知症が起因するものか、老化による機能低下によるものか、話し合いが不足している。	IADLについて本人の出来る事や出来ない事、わかる事やわからない事をシートにそってチェックし、本人の状況を総合的に把握し、ケアプラン作成に努め、有する能力が発揮できるように支援する。	ケアプラン更新時に、センター方式焦点情報(DI、D2)を活用し、IADLについて認知症が関わっているのか、どの程度まで支援すれば良いか、加齢による低下によるものかモニタリングをし話し合いの下、ケアプラン作成に反映する。	6ヶ月
2	2	地区公民館祭や納涼祭に参加したり、ボランティアに定期的に来所して頂き、楽しみや交流となっているが、利用者が地域の一員としてつながり暮らし続けられるよう、日常的に交流出来る場を増やしたい。	新たな地域事業所や近隣の事業所と、より交流ができるように働きかけ、新規交流を始められるように情報発信する。	法人内職員研修の機会に、施設の見学だけでなく、利用者の方と交流する時間を設ける。また、地域や近隣事業所に働きかけ、交流の機会を増やす。	3ヶ月
3	5	鳥取市との連携については、運営推進会議の際、担当者に参加して頂いたり、市からの待機者アンケートについても回答したりと情報共有はできているが、こちらから積極的な発信はしておらず、受け身の体制になっている。	待機者アンケートの結果など、情報収集を行い、ケアサービスの充実を図る。また、運営推進会議参加者の関係機関の方からも、情報収集を行う。	鳥取市認知症高齢者グループホームの待機者調査アンケート結果をいただき、待機者の把握と分析を行う。また、運営推進会議の際も、鳥取市との連携を密にしながら積極的に地域の情報収集を行い、今以上にくつろぎの情報発信も行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。